

ホンネで語ろう！説明文の指導

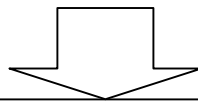
## 子どもが楽しいと感じる「わかる授業」の実践をめざして

「イースター島にはなぜ森林がないのか」を通して（6年）

### 1 主張点

本学級の子どもの実態は以下の通りである。

- ・学習に対する意欲が低い。→
  - ・やりたくない、やっても分からないという児童が多い。
  - ・教師の言ったことをしようとはするが、いつも受身である。
  - ・できた、分かったという満足感や達成感が低い。
- ・国語が好きでない。→
  - ・文章を読んでも何を書いているか分からない。
  - ・苦手意識が強い。
- ・長い文章を読む前から、読んでもわからないとあきらめる。
- ・文章の内容を正しく読み取る方法が分からない。→ 要旨をとらえる、大事な言葉を探すなど
- ・読書量が少なく、長い文章を読む経験が少ない。



### つきたい力

できた、わかったという満足感や達成感を感じる。  
国語を好きになり、学習を楽しみと感じる。  
説明文の内容を正しく読み取る方法を身につける。  
学習したことをもとに読みを広げる。

### 2 単元について

**単元名** 文章の構成を考えながら読もう～イースター島にはなぜ森林がないのか～

この文章は、序論・本論・結論という大きな3つのまとまりで構成されている。イースター島の森林が失われた理由と結果の因果関係がわかりやすく説明されており、読解力をつけるには適した教材といえる。形式段落の大事な言葉や文に着目しながら要約したり、要約した言葉をもとに段落相互の関係を理解させたりするにも効果的な教材だと言える。

#### 単元の目標

- ・文章の構成を考えて、書かれている内容を正しく読み取る。
- ・文中の重要な文章や言葉に注目して、段落の構成を正しくつかみ、ツリー図にまとめる。
- ・興味を持った自然や環境に関する本や文章を読み、学んだことをまとめて、ポスターを作る。

< 単元構成 >

次	時間	学習内容	学習形態	
		イースター島について知る。(オリエンテーション)	T T	
1	1	教材文を通読し、初発の感想を交流し、学習計画をたてる。		
2	2	形式段落ごとに「大事な文や言葉」を見つけ、要約し、言葉や文で表す。		
	3	形式段落ごとの要約をもとに、文章全体を3つの大きなまとまりに分ける。		
3		<b>モアイと語ろうコース (基本)</b> <b>イースター島のなぜ説明コース (標準)</b>	習熟度別 少人数	
	5	ツリー図の作り方について知る。		ツリー図の作り方について知る。
	6	・イースター島に森林がなくなった原因「人間による伐採」について、レベル1の言葉から順に整理し、ツリー図に表す。		・イースター島に森林がなくなった原因「人間による伐採」「ラット」について読み取り、ツリー図に表し、話し合う。
	7 8	・イースター島に森林がなくなった原因「ラット」についてレベル1(具体的な言葉)の言葉から順に整理し、ツリー図を完成させる。 ・モアイ像の言葉を想像する。		・ツリー図から、筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。
4	9	・「文末の表現」に注目し、筆者の考えを読み取る。	T T	
5	10	・興味をもった自然や環境に関する本を読む。(家庭学習) ・読んだことをもとに、ポスターにまとめる。	T T	
		・ポスターセッションをする。(読書の時間)		





### 3 指導の実際

できた、わかったという満足感や達成感を感じる。

#### 習熟度別少人数指導で個に合った指導を行う

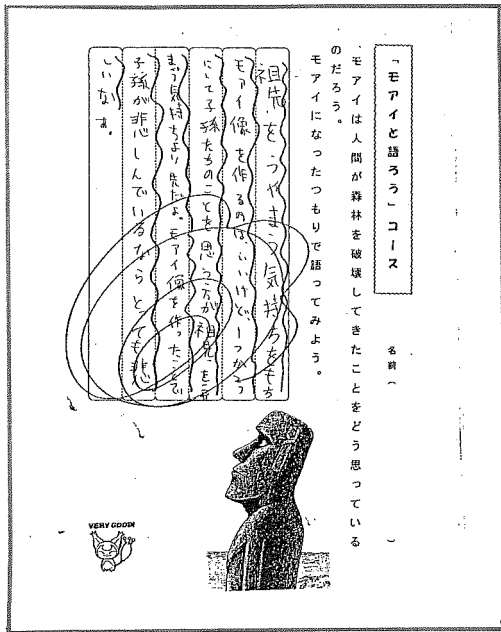
学習状況調査やアンケートなどの結果から、学級の子どもたちには「読む」力や「意欲」に個人差があることがわかった。そこで、習熟度別少人数指導を取り入れ、学習することにした。

「イースター島から森林がなくなった理由」を、ツリー図を使って関係を整理する時間（3時間）を習熟度別少人数指導で学習した。事前に、平成17年度6年生の学習状況調査の説明文「色彩とくらし」の問題で実態調査を行った。その結果と希望調査、普段の様子を参考に、グループ分けを行った。学級の実態に合わせ、基本コースと標準コースに分けることにした。

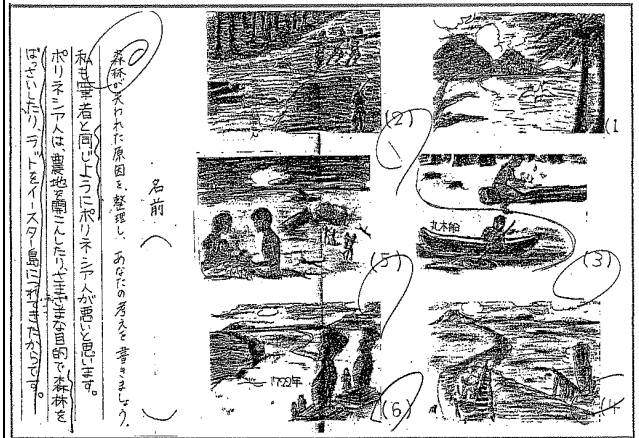
基本コース【モアイと語ろう】		標準コース【イースター島のなぞ解明】	
<p>【ねらい】</p> <p>子どもたちが生き生きと学習に取り組み、発表の機会が与えられ、確実に作業をやり遂げ、「できた」という喜びを感じ取ってもらいたい。モアイ像をコース名にして、モアイと一緒に森林破壊の原因を考えていこうというコース設定にした。</p>		<p>【ねらい】</p> <p>自分の力で課題を解決し、友達と話し合う中で、同じところ違うところを見つけ、考えを認め合い、話し合うことができるようになってほしい。歴史の中で変化をとげてきたイースター島について、自分の意見が持てるようコース設定をした。</p>	
【学習の流れ】			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツリー図の作り方を知る。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツリー図の作り方を知る。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の意味を<b>具体物を使って</b>とらえる。（ころの仕組み、モアイ像の運び方など）</li> <li>・「まず」「次いで」「さらに」のカードを提示し、<b>紙芝居とつなげて順序性を意識</b>させる。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>具体物を使うことで意欲が高まり、全員発表できた。</p> </div>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8～21段落の要約のワークシートを使って森林がなくなった理由をおさえる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>3段落の筆者の問いの答えが、21段落に書いてあった。 「人間による直接の森林破かい」と「ラットがもたらした生態系へのえいきょう」が大きな2つの原因だったな。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>教師と一緒に</b>ツリー図を作成</li> <li>付箋紙を置く場所を四角の枠で指定、線は自分でつなげるワークシートを使う。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>自分の力で</b>ツリー図を作成</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>↓</p> <p><b>グループでの学び合い</b></p> <p>↓</p> <p>（発表ボードを使って）</p> <p>全体での話し合い</p> </div>

4

イースター島の変化を見たモアイ像の言葉を想像する。



接続詞に着目しながら紙芝居の絵を並べ替えて出来事の流れを確認する。  
筆者の考えに賛成か反対か、自分の意見を書く。

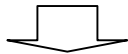


個にあった学習形態で学習することで、筆者の考えにまで迫ることができた。

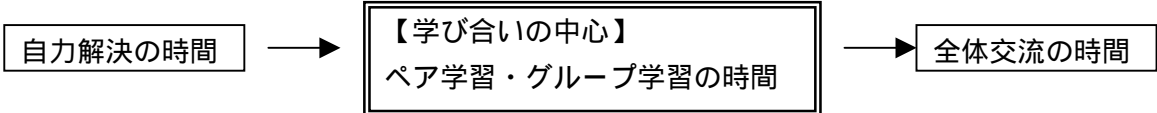
**学び合いの場の設定** (要約の時間、習熟度別少人数の標準コースを中心に実践)

国語に対する苦手意識が強く、自分の考えに自信がない

- ・考えを書こうとしない
- ・考えを持っていても発表しない



友達と意見を交流し、確かめ合い、話し合う時間を設定すれば、自分の考えに自信がもてるのではないか、考えを積極的に発言できるのではないか。



- 【学び合いの時間の持ち方】**
- ・座席の配慮  
(だれとペアやグループになるか)
  - ・発表の場を必ず設ける  
(短冊、発表ボードなどに書いたことをもとに発表)
  - ・意見の交流の仕方をパターン化



交流を繰り返し行うことで、自分の意見を安心して話し、グループで意見をまとめることが上手になってきた。

## 見通しの持てるワークシート



要約をする学習は、個人差が出やすい。特に意欲の低い児童は、27 段落という数の多さに学習に取りかかる前からやる気を失うと考えた。

そこで、「自分にもできそうだ」という見通しをもたせるため、ワークシートを使うことにした。

### (工夫)

- ・自分の考えと友達の考えを書くスペースを作り、修正ができるという見通しをもたせる。
- ・( ) に言葉を入れると要約が完成する段落をいくつか作り、意欲が続くようにする。
- ・簡単にできそうな段落に挑戦させ、できたという達成感をもたせる。

## 子どものワークシート

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

国語を好きになり、学習を楽しんでいる。

オリエンテーションを取り入れる → 教材とのプラスの出会い

イースター島の場所を地図で探す。  
イースター島の絵や写真を見せる。  
島の現状（広さや場所、人口など）を知る。



資料を教室掲示に使い、学習の意欲の喚起をする。



イースター島って  
こんなところ  
なんだ！  
イメージが  
わいてきたよ。

具体物を使って、イメージをわかせる。

・教室にダンボールで作ったモアイ像を置いた。  
大きさのイメージをとらえたり、イースター島の  
学習を楽しく身近に感じたりするために役立っ  
た。

・実際にころ（ロール紙の芯）を使ってみて、文中  
の「巨大な像を転がしてゆくのに必要なころ」の  
言葉の意味をとらえる。



「ころ」がどんなものか分かった。モアイ像  
が大きくて重いから、運ぶためには、とても  
太いたくさんの木が必要だったんだ。

具体物、絵や写真、映像などを使い、イメージ化を図ることで、子どもたちはイースター島に興味をもち、学習に主体的に取り組むことができた。

## 説明文の内容を正しく読み取る方法を身につける。

### スキルを学ぶ (要約・ツリー図)

「要約をする」「ツリー図を作る」には、まず何をすればよいのか？その方法がわからないために、主体的に学べない児童が多い。そのため、方法を学ばせる時間を設定した。

#### 【要約】

#### 要約の仕方を学習する。

要約するにはまず「キーワード」が「中心文」を見つけよう。見つけ方のヒントになる。別の見つけ方があったら、この技に付け加えよう。

### 要約の技のワークシート

**要約の技をマスターしよう！**

**「キーワード」見つけの技**

1 「キーワード」を見つけてよう

まず、文を読んで、「多く使われているな」とか、「この言葉は重要だ」と思える言葉を見つけてよう。

例えば、

(1) はじめて出てきた言葉  
(2) くり返し出てくる言葉  
(3) 題名と関係する言葉

2 「主語・述語」を見つけてよう

キーワード(主語)がどうした(述語)のか考えよう。

**「中心文」見つけの技**

1 「中心文」を見つけてよう

段落の中にあるいくつかの文の中から、大事な文を見つけよう。

ヒントになるのは：

(1) キーワード  
(2) 題名と関係している言葉  
(3) 時・順序を表す言葉  
(4) 筆者の問いと答え  
(5) 接続語

2 いろいろな言葉をはぶいていこう

必要な部分だけ取り出して、いろいろな言葉をはぶいていこう。

27 段落の要約をあきらめずに取り組みようとする児童の姿が見られた。「この言葉は何回も出てきたからキーワードだ。」「この段落は中心文の方が見つけやすい。」など、見つけ方の技を使おうとしていることが感じられるつぶやきも聞こえるようになった。「自分にもできる。」という自信がついたように感じた。

#### 【ツリー図】(香川型教材より)

#### ツリー図の技

#### ツリー図の作成の仕方を学習する。

- ・ ツリー図の作り方の技を知る。
- ↓
- ・ 簡単な例でツリー図を作り、ツリー図の構造を知る。
- ・ 短い文章を読み、ツリー図を作る。

**ツリー図の作り方の技をマスターしよう！**

言葉のレベル

↑ 高

レベル3の言葉  
感情を大きく2つに分ける言葉

レベル2の言葉  
レベル1をまとめる言葉

レベル1の言葉  
くわしい言葉  
実物・実際にしたこと等

↓ 低

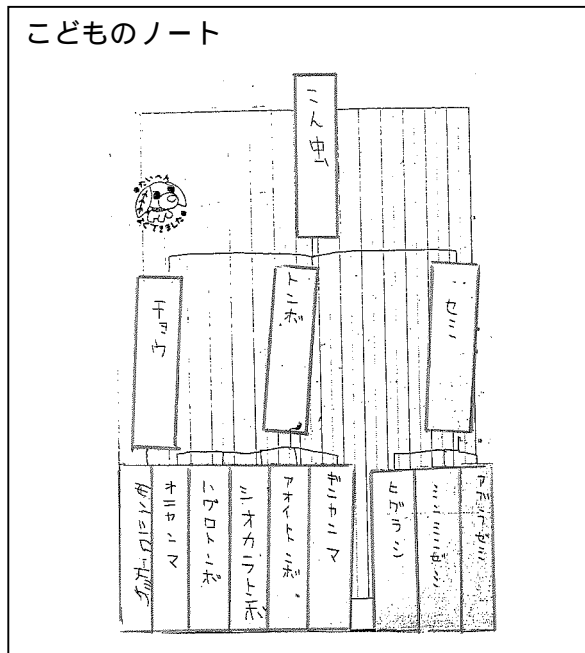
1. ふせんにキーワードを書く。
2. 並べ方を考える。
3. キーワード(ふせん)を線でつなぐ。
4. 自分のツリー図を見て、説明をする。
5. 友だちと話し合う。
6. 修正する。

・ 内容が重なっているときは、横に並べる。

・ 同じ視座(目)に言葉のレベル(の)を2年ほど横に並べる。

・ よく似た言葉を仲間分けしてから、考えよう。

・ まとめる言葉になるほど上に置く。



自分の力で、ツリー図が作れた！ツリー図の作り方の技のプリントを見ながら作ると、「イースター島～」でも作れそうだ。

### 香川型教材の活用

#### 「イースター島から森林が失われた理由」のツリー図を作成する。

8～21段落を読み、「イースター島から森林が失われた理由」に関するキーワードを探す。それをツリー図に構成するという学習を行った。

接続詞に注目して順序に気をつけ、書かれてある内容を正しく理解していないとツリー図を作ることができない。また、レベルが同じ言葉を横にそろえたり、つながりのある言葉を縦につなげたりすることで、丁寧に言葉に着目できるようになると考えた。

子どもたちは、5年生の説明文「動物の体」の学習のときから、付箋を使った活動が好きで、今回も意欲的に取り組めた。付箋紙を使うと、自分の意見が簡単に修正ができるよさもあり、自分の考えを表しやすい。また、同じキーワードを使って構成の仕方考えるので、友達との交流の際も異同を比べやすいという利点もある。

**ツリー図から考える**  
 筆者は、人間のしたことをたくさん述べている。森林がなくなったのは、人間に大きな原因があると考えているのではないか？



**筆者の考えに迫る、自分の考えを持つ**  
 イースター島から森林がなくなったのは、ポリネシア人に大きな原因がある？それともラット？自分の考えを書こう。

#### 《子どもの感想より》

- ・筆者と同じで、ポリネシア人が悪いと思う。ラットがヤシの実を食べたのは生きていくために仕方がない、いわば本能なのでラットは悪くないと思う。
- ・ポリネシア人だけでなく、ラットもヤシの実を食べたのだから、ぼくは、ポリネシア人が2/3でラットが1/3責任があると思う。
- ・ポリネシア人は必要以上に木を切りすぎたと思う。
- ・人間は自分勝手だなあ。



学習したことをもとに読みを広げる。

**ポスターセッション**をする。

・「イースター島には～」の学習後、イースター島や地球環境に関係のある本や資料を読む活動を行った。読みたい本がなかなか見つからない児童のために、図書室にある環境に関する本を紹介した。た、新しい文章を読むことが難しい子に対して、「イースター島にはなぜ～」の説明文を使ってよいことにした。

(紹介した作品)

「マンモス絶滅のなぞ」(教科書 読書の窓)

「巨大石像物語 かもめがおそう島」「森林が消えていく」

「ゴミはどのように地球をよごすのか」

「地球から森が消えていく」「地球環境のひみつ」 など

・ 読んだり、調べたりした内容を友達に知らせるため、ポスターにまとめることにした。

**ポスターに表すことの良さ**

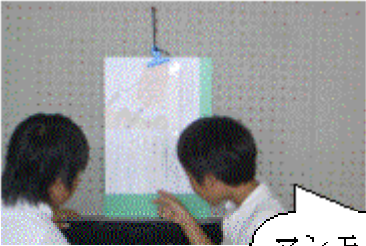
- ・ 長い文章を書く、自分の言葉でまとめることが苦手な子でもできる。
- ・ 文の長さや量が自分で決められる。
- ・ 絵や図を使って表現できる。
- ・ 本の内容の紹介、クイズ、感想など、自分にあった方法で表現できる。



・ 子どもたちが意欲的だったため、出来上がったポスターで、ポスターセッションをおこなうことにした。

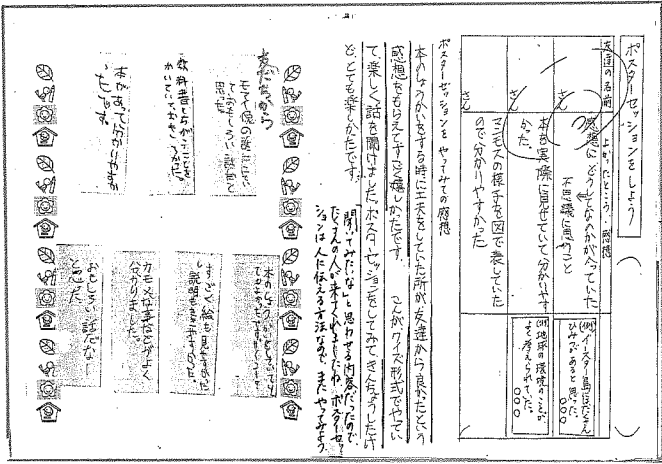


このクイズの答えは、わかるかな？  
①、②、③のどれが正解でしょう。



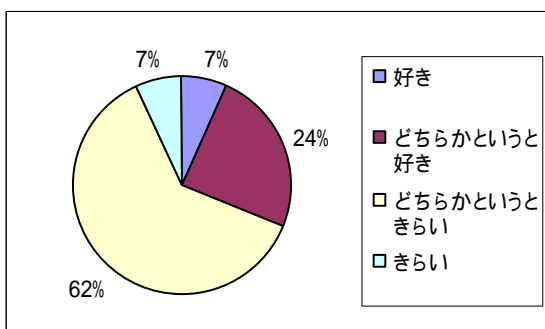
マンモスのことについて、説明するよ。ぼくは温暖化が心配だな。

ワークシート

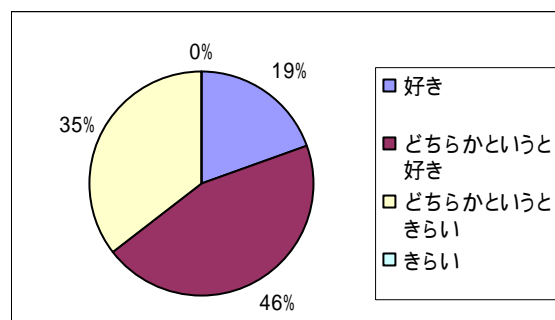


#### 4 成果と課題

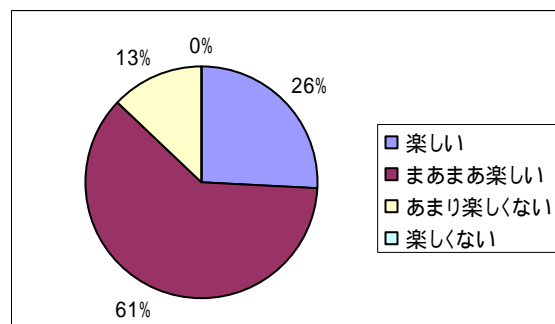
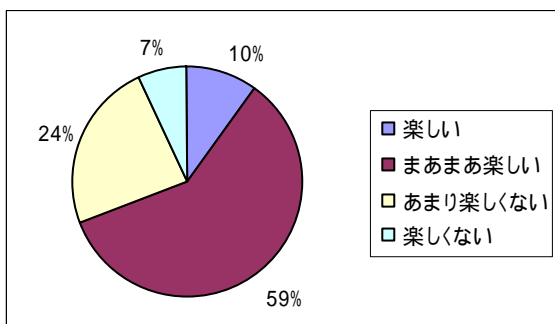
国語は好きですか？ 【5月実施】



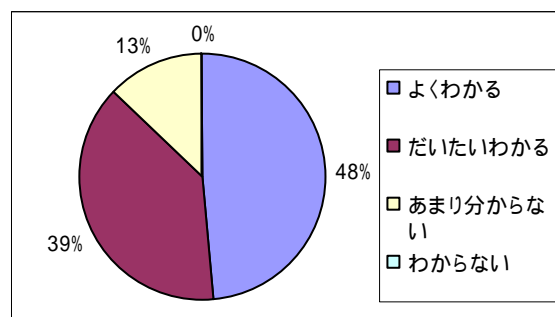
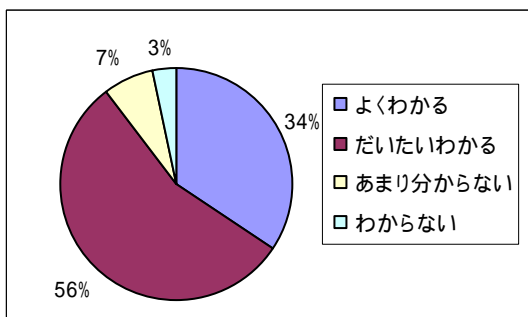
【7月実施】



国語の授業は、楽しいですか？



国語の授業はよく分かりますか？



意欲的・主体的に学べるようになってきた。

(ペア・グループ学習や習熟度別少人数指導が有効)

国語が好きな児童が増え、国語に対する抵抗感が少なくなった。

(他の単元や教科、テストにも影響)

ペア・グループ学習の意見交流が上手になった。

(安心して意見が言える・友達の意見を聞ける・グループでまとめることができるなど)

要約の必要性を児童が感じ、主体的に学ぶためには、どんな方法があるのかが知りたい。

ペア・グループ学習での話し合いの仕方のバリエーションを増やしたい。

長い文章に慣れるための、日常の読書指導の工夫をおこないたい。

単元の時間数が増えたことで、他の単元で調節が必要になった。